

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【公開番号】特開 2010-103599 (P2010-103599A)

【公開日】平成 22 年 5 月 6 日 (2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報 2010-018

【出願番号】特願 2008-270562 (P2008-270562)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 17/14 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 3 B 17/14

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

手動操作によって、撮影に適した第 1 の状態と携帯に適した第 2 の状態とに切り換え可能な撮影レンズと、

上記撮影レンズ内に設けられ、上記第 1 および第 2 の状態のいずれであるかを検出する検知部と、

上記検知部により、上記撮影レンズが上記第 1 の状態にあることを検出した場合には通常の撮影可能状態となり、一方、上記撮影レンズが上記第 2 の状態にあることを検出した場合には撮影不能であり、かつ、低消費電力状態となるカメラ本体と、

を具備することを特徴とするデジタルカメラシステム。

【請求項 2】

上記撮影レンズと上記カメラ本体の間で、上記検知部により検出結果を通信する通信部と、

上記カメラ本体内に設けられ、上記通信部を介して受信した上記検知部による検出結果に基づいて、上記撮影可能状態と上記低消費電力状態とに切り換える制御部と、

を具備することを特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラシステム。

【請求項 3】

手動操作によって、撮影に適した第 1 の状態と携帯に適した第 2 の状態とに切り換え可能な撮影レンズを装着可能であって、

上記撮影レンズを介して被写体像を撮像する撮像部と、

上記撮像部で取得した被写体像を表示する表示部と、を備え、

上記撮影レンズが上記第 1 の状態から上記第 2 の状態に切り換えられた場合には、上記

表示部の表示状態を停止した低消費電力状態となり、さらに上記低消費電力状態が所定時間継続した場合に、停止状態に移行することを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 4】

撮影レンズを介して被写体像を撮像する撮像部と、

上記撮像部で取得した被写体像を表示する表示部と、

上記表示部における上記被写体像の表示を停止する第 1 の省エネルギーモードと、デジタルカメラ全体の動作を停止する第 2 の省エネルギーモードのいずれかに切り換える低消費電力制御部と、

上記被写体像が上記撮像部によって正常に結像しない状態を検出した場合には、上記第 1 の省エネルギーモードに切り換え、この状態が所定時間、継続する場合には、上記第 2 の省エネルギーモードに切り換える制御部と、

を具備したことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 5】

上記制御部は、上記撮影レンズが携帯時に適した状態に収納されたことを検出した場合、または、上記撮影レンズが取り外されたことを検出した場合に、上記第 1 の省エネルギーモードに切り換えることを特徴とする請求項 4 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 6】

手動操作によって、撮影に適した第 1 の状態と携帯に適した第 2 の状態とに切り換える操作部と、

上記第 1 の状態と上記第 2 の状態のいずれの状態であるかを検出する検出部と、

上記検出部によって検出した状態を送信するための通信部と、

を具備することを特徴とする交換レンズ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため第 1 の発明に係わるデジタルカメラシステムは、手動操作によって、撮影に適した第 1 の状態と携帯に適した第 2 の状態とに切り換え可能な撮影レンズと、上記撮影レンズ内に設けられ、上記第 1 および第 2 の状態のいずれであるかを検出する検知部と、上記検知部により、上記撮影レンズが上記第 1 の状態にあることを検出した場合には通常の撮影可能状態となり、一方、上記撮影レンズが上記第 2 の状態にあることを検出した場合には撮影不能であり、かつ、低消費電力状態となるカメラ本体と、を具備する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第 2 の発明に係わるデジタルカメラシステムは、上記第 1 の発明において、上記撮影レンズと上記カメラ本体の間で、上記検知部により検出結果を通信する通信部と、上記カメラ本体内に設けられ、上記通信部を介して受信した上記検知部による検出結果に基づいて、上記撮影可能状態と上記低消費電力状態とに切り換える制御部と、を具備する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

第3の発明に係わるデジタルカメラは、手動操作によって、撮影に適した第1の状態と携帯に適した第2の状態とに切り換え可能な撮影レンズを装着可能であって、上記撮影レンズを介して被写体像を撮像する撮像部と、上記撮像部で取得した被写体像を表示する表示部と、を備え、上記撮影レンズが上記第1の状態から上記第2の状態に切り換えられた場合には、上記表示部の表示状態を停止した低消費電力状態となり、さらに上記低消費電力状態が所定時間継続した場合に、停止状態に移行する。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 9 】

第4の発明に係わるデジタルカメラは、撮影レンズを介して被写体像を撮像する撮像部と、上記撮像部で取得した被写体像を表示する表示部と、上記表示部における上記被写体像の表示を停止する第1の省エネルギーモードと、デジタルカメラ全体の動作を停止する第2の省エネルギーモードのいずれかに切り換える低消費電力制御部と、上記被写体像が上記撮像部によって正常に結像しない状態を検出した場合には、上記第1の省エネルギーモードに切り換え、この状態が所定時間、継続する場合には、上記第2の省エネルギーモードに切り換える制御部と、を具備する。

【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 0 】

第5の発明に係わるデジタルカメラは、上記第4の発明において、上記制御部は、上記撮影レンズが携帯時に適した状態に収納されたことを検出した場合、または、上記撮影レンズが取り外されたことを検出した場合に、上記第1の省エネルギーモードに切り換える。

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 1 】

第6の発明に係わる交換レンズは、手動操作によって、撮影に適した第1の状態と携帯に適した第2の状態とに切り換える操作部と、上記第1の状態と上記第2の状態のいずれの状態であるかを検出する検出部と、上記検出部によって検出した状態を送信するための通信部と、を具備する。